

## 2018年度 事業報告書

2018年4月1日～2019年3月31日

法人の名称 特定非営利活動法人 アクションおっぱま

### 1 事業活動方針

当年度は、市民、大学、企業、行政ならびに追浜観光協会、(協)追浜商盛会、各地域団体との連携により地域まちづくりの課題解決と人材育成に重点を置き取り組んで行く。

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

##### ① 誰でもが地域に住み続けるための条件整備に関する事業

###### ア 追浜ファンを増やすために

- ・ 内 容 当年度もマンション入居者への支援はルネ追浜の子育て講座にNPO法人として支援参加した。又、追浜あんず通信やアクションおっぱまのパンフレットなどを講演会の機会などに配布し、追浜のPRを行った。
- ・ 日 時 2018年4月～2019年3月
- ・ 場 所 追浜地域内
- ・ 従事者人員 当法人の役員、会員など 約10名
- ・ 受益対象者 追浜に居住している人、新たに転入してきた人など
- ・ 支 出 額 0円

###### イ 空き家・空き店舗プロジェクト

- ・ 内 容 今年度も、関東学院大学の空き家プロジェクトに協力し、学生の地域活動への参加を支援するとともに、地域資源としての空き家・空き店舗の活用について検討を進めた。具体的には、空き家活用について当法人に相談があった鷹取町1丁目住宅は、関東学院大学による改修後活用の方向で話が進み、追浜南町1丁目の「おっぱまのま」活用にあたり、地域の子育て世代の活動グループとの仲介役を務めた。
- ・ 日 時 2018年4月～2019年3月
- ・ 場 所 追浜地域内
- ・ 従事者人員 当法人の役員、会員、関東学院大学 教員、学生等 約50名
- ・ 受益対象者 追浜地域空き家・空き店舗所有者、地域住民、関東学院大学学生
- ・ 支 出 額 0円

##### ② 地域資源の保存・活用に関する事業

###### ア 第三海堡遺構の見学・ガイドツアー事業

- ・ 内 容 見学者に対するガイド事業は個人・団体を問わず引き続きおっぱまはっけん倶楽部の協力を得て実施した。  
年間の見学者数は、一般公開日 350人、7団体 123人、イベント公開 389人の計 862人と前年度よりやや減少した。一般公開日が荒天の為2回中止になったこと等、戶外施設として自然条件に左右された面もあると考えられる。  
構造物については、崩落懸念箇所(探照灯の一部)や、その他にも劣化が見られるので、見学者の安全対策と文化財保護の観点から、補修工事の実現を市当局に働きかけていきたい。  
なお、第三海堡遺構展示場が、横須賀市の第2回すかまち景観デザイン賞を受賞した。

- ・日 時 2018年4月～2019年3月
- ・場 所 夏島都市緑地
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 延約150人  
\*おっぱまはっけん倶楽部会員の協力を求める。
- ・受益対象者 追浜在住、近隣住民その他見学を希望する一般市民
- ・支 出 額 0円

#### イ 追浜の自然や歴史遺産をいかすフィールドミュージアム構想検討事業

- ・内 容 地域フィールドミュージアム（地域まるごと博物館）は、鷹取エリアを検討する「鷹取山・鷹取川を語る会」開催を模索の糸口に考えたが、計画策定が不十分なため実施に至らなかった。  
当法人は、追浜商店会連合会が検討している「(仮)追浜ガイドブック」の製作に協力連携を依頼された。フィールドミュージアム検討グループが、具体的な「名所案内コース」等の項目案作成や今後の作業方針を検討した。
- ・日 時 2018年4月～2019年3月
- ・場 所 追浜地域内、追浜行政センター内（語る会開催等）
- ・従事者人員 当法人役員、会員等
- ・受益対象者 追浜地域住民及び近隣住民
- ・支 出 額 0円

#### ウ 新しい案内板の設置事業

- ・内 容 追浜商店会連合会より追浜ガイドブックの制作の依頼があり、地図を作製し案内板の紙面での代用を企画していたが連合会の都合で中止になった。しかし、以前よりおっぱまはっけん倶楽部と協働で横須賀市公園管理課や他関係機関に働きかけていた、第三海堡案内看板が教育委員会により平成町うみかぜ公園の兵舎ともども完成設置され、同時に石碑の文字も補修された。
- ・日 時 2019年3月
- ・場 所 第三海堡遺構周辺、追浜地域内
- ・従事者人員 当法人役員のほか、おっぱまはっけん倶楽部有志と協働。
- ・受益対象者 追浜地域住民および追浜を訪れる人々
- ・支 出 額 0円

#### エ 東京湾第三海堡保存の意義をみんなで考える講演会の開催（平成30年度横須賀市NPO補助金）

- ・内 容 東京湾第三海堡遺構（以下「第三海堡遺構」）はすでに横須賀市指定重要文化財となっているが、平成30年3月神奈川県指定重要文化財に指定された。これを期にさらに多くの方の関心を呼び起こすことを目指し、標記講演会を企画した。  
講演会は、横須賀市NPO補助金を得て11月25日（日）に開催（後援：追浜地域運営協議会）、参加者は80名で、アンケートでは3分の2以上が講演はわかりやすく興味が持てたと回答した。
- ・日 時 2018年11月25日（日）
- ・場 所 追浜コミュニティセンター4階集会室
- ・従事者人員 当法人役員、はっけん倶楽部会員 約20名
- ・受益対象者 追浜を含む横須賀市内、横浜市等隣接地域 80名
- ・支 出 額 166,531円（横須賀市NPO補助金決定額 104,000円）

### ③ 地域の活性化に関するイベント事業

#### ア おっぱまワイン寄席

- ・内 容 例年好評を得ており、落語ファンも増え楽しみにしている人たちから開催への要望も多いので、今年度も「第15回おっぱまワイン寄席」の地元での開催準備を進め、追浜地域運営協議会の後援を得て、追浜コミュニティセンター北館3階集会室の利用が可能となったが、柳家喬太郎師匠の日程上の都合により、開催日程は2019年4月9日に決まった。
- ・日 時 2018年4月～2019年3月
- ・場 所 追浜コミュニティセンター北館3階集会室
- ・従事者人員 当法人役員、会員等20人程度
- ・受益対象者 追浜地域住民等
- ・支 出 額 0円

#### イ 私のコmise

- ・内 容 月1回の出店者の会議（こmiseオーナー会議）とワゴンセール等の企画支援を行う。春のワゴンセールは4月16日、18日、20日、秋のワゴンセールは10月15日、17日、19日に行った。
- ・日 時 2018年4月～2019年3月
- ・場 所 こみゆに亭カフェ
- ・従事者人員 当法人役員、会員等 2、3名
- ・受益対象者 追浜地域住民等
- ・支 出 額 0円

#### ウ こみゆに亭カフェ等を活用したイベントの実施

- ・内 容 今年度は実施しなかった
- ・日 時
- ・場 所
- ・従事者人員
- ・受益対象者
- ・支 出 額

### ④ まちづくりの人材育成に関する事業

#### ア 各種団体との交流と人材育成の実施

- ・内 容 今年度の各種団体との交流と人材育成に関しては、立教大学法学部薬師丸ゼミの学生が横須賀市内のNPO法人の活動をテーマにしたいとのことで、追浜地域内および立教大学にてヒアリング等に応じた。
- ・日 時 2018年4月～2019年3月
- ・場 所 こみゆに亭カフェ、当法人事務所など追浜地域内と立教大学
- ・従事者人員 当法人役員、2名
- ・受益対象者 横須賀市内外のNPO法人、追浜地域の各種団体、その他学校法人等
- ・支 出 額 0円

以下⑤、⑥の事業は、NPO法人アクションおっぱまが(協)追浜商盛会和協力して行う。

⑤ 酒類の醸造及び販売事業

ア 横須賀おっぱまワインの醸造・販売及びおっぱまワインケーキ、おっぱまワインカレー等の販売協力。

- ・内 容 年間を通して赤・白ワインの製造及び販売を行っている。醸造は赤2回・白1回、約3,000本強生産した。年10回程のイベントに出店をしているが、販売本数は微減している。併せてワインの名称問題があり、(協)追浜商盛会在国税とヒアリングを行いながら検討してきたが、打開策はなく名称変更を考えざるを得ないという状況の中で協力を行っている。
- ・日 時 2018年4月～2018年3月
- ・場 所 こみゆに亭カフェ他
- ・従事者人員 当法人役員、会員など延約60名
- ・受益対象者 追浜地域住民等
- ・支 出 額 0円

⑥ 地域の特産品の製造及び販売事業

ア 地域特産品の広報等

- ・内 容 今年度は行わなかった
- ・日 時
- ・場 所
- ・従事者人員
- ・受益対象者
- ・支 出 額

広報等に関する事業

ア NPO法人アクションおっぱまの会報「あんず通信」の編集・発行を継続し、追浜の地域活性化につながる編集企画を検討した。また、多方面への配布を実施した。

- ・発行回数：年間2回
- ・ページ数と発行部数：4ページ (A4版)、各回200部
- ・支 出 額 46,164円

イ 各種冊子の販売

『東京湾第三海堡物語』『貝山地下壕見学のしおり』『追浜トンネル物語』『絵地図 おっぱま再発見』といった各種冊子の販売を行った。なお、『貝山地下壕見学のしおり』は、貝山地下壕の再公開に向けて、おっぱまはっけん倶楽部と協働で改訂作業を行った。

- ・支 出 額 0円

以上